Ⅳ　調査票

かわさき市民アンケート

平成１８年８月

【ご記入にあたってのお願い】

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

◎ この調査は、行政上の基礎資料として活用することを目的としていますので、他の目的に使用することは決してありません。
◎ この調査は無記名調査です。あなたのお名前やご住所を書いていただく必要はありません。
◎ この調査の結果はすべてコンピューターで一括処理を行い、統計的な集計・分析だけに用いられますので、**個々のお答えの内容や皆様の個人情報が外部に漏れることは一切ありません。**

〈お願い〉

◆ あて名のご本人がお答えください。
◆ ご記入は、濃いえんぴつまたはボールペン・万年筆でお願いいたします。
◆ お答えは、あてはまる答えの番号を○で囲んでください。
「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが、（　　）内になるべく具体的に、その内容をご記入ください。
◆ お答えは、設問ごとに（○は１つ）（○は２つまで）など指定されていますので、お間違えのないようお気を付けください。
◆ 「道路について」の設問では、数字を手書きでご記入いただく箇所がございます。【記入の仕方】をご覧になって、お間違えのないようにご記入下さい。
◆ 設問によっては、ご回答していただく方が限られる場合がありますので、注意書きをお読みください。
◆ ご記入いただいた調査票は、**８月２５日（金）**までに同封の返信用封筒（切手不要）に入れて投函してくださいますようお願いいたします。

本調査についてご不明な点がありましたら、下記調査担当課までお問い合わせください。

〈調査担当課〉川崎市総務局市民情報室市民の声担当
ＴＥＬ：044-200-2291（直通）
〒210-8577　川崎市川崎区宮本町１番地

R100
古紙パルプ配合率100％再生紙を使用

■　健康に関する意識（実態）について

＜健診（健康診断や健康診査）について＞

川崎市では、「かわさき健康づくり21」（平成13～22年度）を策定し、健康分野の課題ごとに健康水準の指標となる具体的目標を定め、健康づくりに取組んでいます。平成18年度からの後期計画の推進を図るため、健康診査の受診や保健指導の利用状況について、以下の問にお答えください。

問１　あなたは過去１年間に、健診（健康診断や健康診査）や人間ドックを受けたことがありますか。
（がんのみの検診、妊産婦検診、歯の健康診査、病院や診療所で行う診療としての検査は、健診に含みません。）　（○は１つ）

１．あ　る	２．な　い
問１－（１）へ	問２へ（２ページ）

問１－（１）　問１で「１．あ　る」と答えた方にうかがいます。
健診や人間ドックの結果、肥満、高血圧症（血圧が高い）、糖尿病（血糖が高い）、血中の脂質異常※に関する指摘を受けましたか。（健診結果にあわせて書面に、「血圧が高めなので、塩分の摂取を控えましょう」「再検査を受けてください」等記載されている場合を含みます。）　（○は１つ）
※血中の脂質異常：総コレステロール、ＬＤＬ（悪玉）コレステロールや中性脂肪が高い、または、ＨＤＬ（善玉）コレステロールが低いこと

１．は　い	２．いいえ
問１－（１）－①、②、③へ	問２へ（２ページ）

問１－（１）－①　問１－（１）で「１．は　い」と答えた方にうかがいます。
次のどのようなことについて、指摘を受けましたか。
（あてはまるものすべてに○）

１．肥満	４．血中の脂質異常※
２．高血圧症	５．その他（　　）
３．糖尿病（血糖が高い）	

※血中の脂質異常：総コレステロール、ＬＤＬ（悪玉）コレステロールや中性脂肪が高い、または、ＨＤＬ（善玉）コレステロールが低いこと

問１－（１）－②　問１－（１）で「１．は　い」と答えた方にうかがいます。
指摘を受けたことについて、保健指導（食事や生活習慣の改善の指導）を受けましたか。（医療機関で受けた指導も含みます。）（○は１つ）

１．は　い	２．いいえ
問１－（１）－②－１へ	

問１－（１）－②－１　問１－（１）－②で「１．は　い」と答えた方にうかがいます。
指摘された内容についてどの程度実行していますか。（○は１つ）

１．おおむね実行している	３．実行していない
２．一部実行している	

問１－（１）－③　問１－（１）で「１．は　い」と答えた方にうかがいます。
最終的に、医療機関を受診するように勧められましたか。（検査目的の受診は除きます。）　（○は１つ）

１．は　い	２．いいえ

↓

問１－（１）－③－１へ

問１－（１）－③－１　問１－（１）－③で「１．は　い」と答えた方にうかがいます。
その後、医療機関に行きましたか。（○は１つ）

１．は　い	２．いいえ

問２　内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）とは、「内臓脂肪が蓄積することによって、血圧、血糖が高くなったり、血中の脂質異常※をおこしたりして、食事や運動などの生活習慣を改善しなければ、心筋梗塞や脳卒中などが起こりやすくなる状態」のことです。この内容を知っていますか。（○は１つ）
※血中の脂質異常：総コレステロール、ＬＤＬ（悪玉）コレステロールや中性脂肪が高い、または、ＨＤＬ（善玉）コレステロールが低いこと

１．内容を知っている
２．言葉を聞いたことはあるが内容は知らない
３．知らない（今回の調査で初めて聞いた場合も含みます）

メタボリックシンドローム診断基準を参考として掲載します。

内臓脂肪（腹腔内脂肪）蓄積

ウエスト周囲径　男性≧85cm　　女性≧90cm
（内臓脂肪面積　男女とも≧100 cm^2に相当）

上記に加え以下のうち２項目以上

高トリグリセライド血症	≧150mg/dl	かつ/または
低 HDL コレステロール血症	＜40mg/dl	男女とも
収縮期血圧	≧130mmHg	かつ/または
拡張期血圧	≧85mmHg	
空腹時高血糖	≧110mg/dl	

（日本動脈硬化学会、日本糖尿病学会、日本高血圧学会、日本肥満学会、日本循環器学会、日本腎臓病学会、日本血栓止血学会、日本内科学会）

問３　この１～２年の間に健診や人間ドックなどで、がんの検診を受けたことがありますか。
（○は１つ）

１．あ　る　　２．な　い

↓　問３－（１）へ　　↓　問３－（２）へ

問３－（１）　問３で「１．あ　る」と答えた方にうかがいます。
どのような機会にがんの検診を受けましたか。（○は１つ）

１．川崎市の検診	３．個人申込みによる検診（人間ドック等）
２．職場における検診	４．その他（　　）

問３－（２）　問３で「２．な　い」と答えた方にうかがいます。
がんの検診を受けない理由は何ですか。（○は３つまで）

１．主治医にまかせている（通院中など）	５．検診の時間がとれない
２．必要性を感じない	６．費用がかかる
３．結果を知るのがこわい	７．その他（　　）
４．めんどう	８．特に理由なし

＜「食育」について＞

川崎市では、平成１９年度に「食育基本計画」の策定を予定しています。「食育」について、以下の問にお答えください。

問４　「食育」とは、「生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきものと位置づけ、様々な経験を通して「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること（食育基本法）」です。
「食育」という言葉やその意味を知っていましたか。（○は１つ）

１．言葉も意味も知っていた
２．言葉は知っていたが、意味は知らなかった
３．言葉も意味も知らなかった

問５　あなたは「食育」に関心がありますか。（○は１つ）

１．関心がある
２．どちらかといえば関心がある
→　問５－（１）へ

３．どちらかといえば関心がない
４．関心がない
５．わからない
→　問６へ

問５－（１）　問５で「１」または「２」と答えた方にうかがいます。
あなたが「食育」に関心がある理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

１．子どもの心身の健全な発育のために必要だから
２．食生活の乱れ（栄養バランスの崩れ、不規則な食事等）が問題になっているから
３．肥満ややせすぎが問題になっているから
４．生活習慣病（がん、糖尿病等）の増加が問題になっているから
５．BSEの発生など、食品の安全確保が重要だから
６．食にまつわる地域の文化や伝統を守ることが重要だから
７．食料を海外からの輸入に依存しすぎることが問題だから
８．消費者と生産者の間の交流や信頼が足りないと思うから
９．有機農業など自然環境と調和した食料生産が重要だから
10．大量の食べ残しなど食品廃棄物が問題だから
11．自然の恩恵や食に対する感謝の念が薄れているから
12．その他（　　）

問６　あなたは、日ごろから、健全な食生活を行うために「食育」に関する何らかの活動や行動をしていますか。（○は１つ）

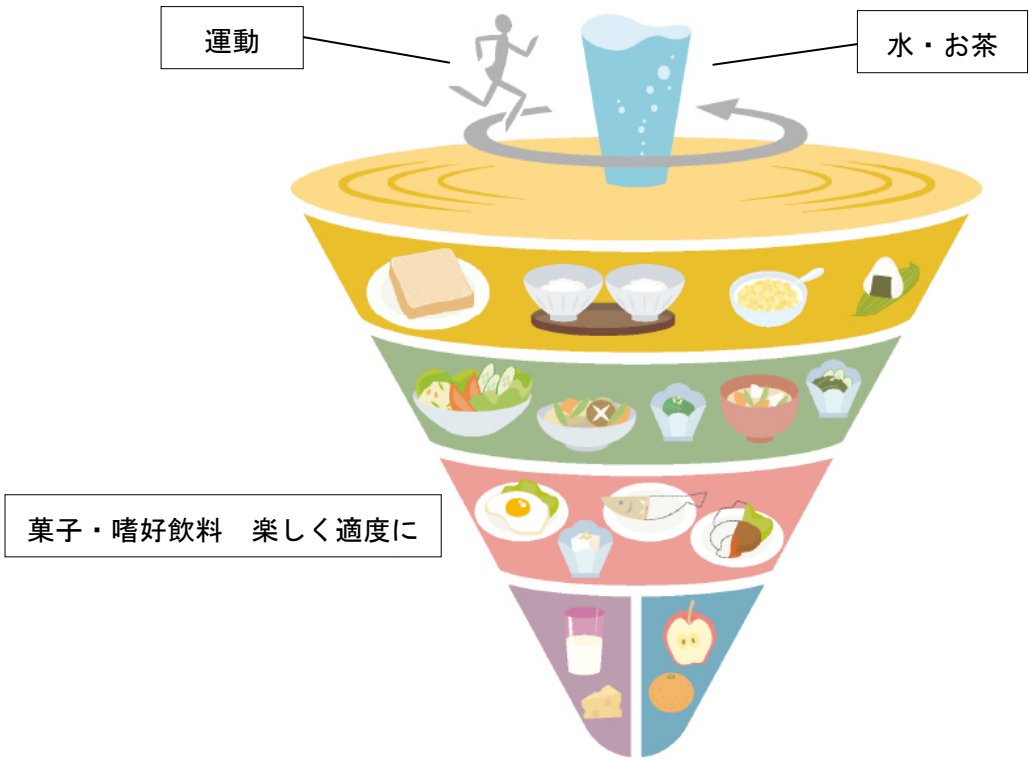
１．積極的にしている
２．できるだけするようにしている
３．あまりしていない
４．したいと思っているが、実際にはしていない　→ 問６－（１）へ
５．したいと思わないし、していない
６．わからない

問６－（１）　問６で「３」～「５」と答えた方にうかがいます。
あなたが食育に関する活動や行動をしていない理由は何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

１．自分や家族の食事や食生活に関心がないから
２．食事や食生活への関心はあるが、他のこと（仕事、趣味等）で忙しいから
３．食事や食生活への関心はあるが、食費を安くすることの方が重要だから
４．食事や食生活を特に意識しなくても問題はないから
５．「食育」自体についてよく知らないから
６．活動や行動をしたくても情報が入手できないから
７．その他（　　）
８．特にない
９．わからない

問７　あなたは、コマ型の「食事バランスガイド」（下図）を見たことがありますか。
（○は１つ）

１．あ　る　⟶　問７－（１）、（２）へ
２．な　い



問７－（１）　問７で「１．ある」と答えた方にうかがいます。
どこであるいは何で見ましたか。（あてはまるものすべてに○）

１．スーパーマーケット
２．コンビニエンスストア
３．デパート
４．その他の商店
５．ファミリーレストラン
６．飲食店（ファミリーレストラン以外）
７．社員食堂や学生食堂
８．職場や学校の講習会や広報
９．保健所や市町村の講習会や広報
10．シンポジウム等のイベント
11．新聞
12．雑誌・本
13．テレビ
14．電車の中刷り広告、広報ポスター
15．インターネット（ホームページ）
16．その他（　　）

問７－（２）　問７で「１．ある」と答えた方にうかがいます。
コマ型の「食事バランスガイド」を参考にしてメニューを考えたり、選んだりしますか。（○は１つ）

１．ほぼ毎食参考にしている
２．毎日１食は参考にしている
３．時々参考にしている
４．ほとんど参考にしない

■　地域福祉について

川崎市では、「地域福祉計画」（平成17～21年度）を策定し、地域で暮らす様々な人々一人ひとりが、それぞれに違いを認め合い、健やかで安心し、自立した生活を送ることができるように地域福祉を推進しています。

地域での交流や生活上の心配ごとなどについて、以下の問にお答えください。

＜地域での交流や助け合いについて＞

問８　あなたは隣近所との付き合いをどの程度していますか。（○は１つ）

１．家族のように親しくつきあっている
２．家に行き来したり、親しく話をする
３．ときどき話をする程度
４．あいさつをする程度
５．ほとんどつきあいがない

問９　あなたは、近所付き合いや地域住民同士の交流について、どの程度必要と思っていますか。（○は１つ）

１．地域で助け合うことは大切であり、そのためにも普段からの交流は必要だ
２．日ごろの交流がないといざというときに助け合えないので、多少面倒でもある程度交流しておいた方がいい
３．困ったことがあれば当然助け合うべきだが、日ごろの交流は面倒なのであまりしたくない
４．地域で助け合うことは必要だと思わないが、地域で交流すること自体は大切だ
５．地域との交流よりも、気の合った仲間やグループでの交流を大切にし、困った時もその中で助け合えばよい
６．困ったことがあれば行政やその他の団体などが支援すべきなので、地域での助け合いや日ごろの交流は必要ではない

問10　あなたは、隣近所の人の手助け等をした経験はお持ちですか。また、手助けしてもらいたいことはありますか。（それぞれについてあてはまるものすべてに○）

【手助け等をした経験】

１．悩み事や心配事の相談に乗る
２．買い物の代行
３．一人暮らし世帯への声かけ、安否確認
４．通院の付添い
５．病気の時の看病
６．子どもを預かる
７．学校、保育所、幼稚園などの送迎
８．電球交換や簡単な大工仕事
９．炊事、洗濯、掃除などの家事
10．その他（　　）

11．手助け等をした経験はない

【手助け等をしてもらいたいこと】

１．悩み事や心配事の相談に乗る
２．買い物の代行
３．一人暮らし世帯への声かけ、安否確認
４．通院の付添い
５．病気の時の看病
６．子どもを預かる
７．学校、保育所、幼稚園などの送迎
８．電球交換や簡単な大工仕事
９．炊事、洗濯、掃除などの家事
10．その他（　　）

11．手助け等をしてもらいたいことはない

＜日々の生活上の心配ごとと解決方法について＞

問11　あなたは家庭生活の中で次のような不安を感じたことがありますか。
（あてはまるものすべてに○）

１．身の回りのことが、いつまで自分でできるかわからない
２．介護が必要な家族を、家庭で介護できるか自信がない
３．経済的に生活できるか不安である
４．病気になったときに頼れる人が身近にいない
５．子育てがうまくできるか不安である
６．その他（　　）

７．特に心配なことはない

問12　あなたの心配ごとを解決するために、必要だと思われることはなんですか。
（あてはまるものすべてに○）

１．身近でいつでも相談できるところがあること
２．保健や福祉のサービスの利用料が低額であること
３．保健や福祉のサービスの利用手続が簡単であること
４．緊急時にすぐに手助けをしてくれる人が身近にいること
５．利用できる保健や福祉サービスの種類がたくさんあること
６．保健や福祉に関する情報を簡単に入手できること
７．保健や福祉のサービスの質を評価した情報があること
８．その他（　　）

９．特に何も必要だと思わない

問13　あなたが日々の生活をする上で、心配なことが起きたときの相談先はどこですか。
（あてはまるものすべてに○）

１．同居している家族
２．知人、友人
３．離れて暮らしている家族
４．区役所の保健福祉センター
５．かかりつけの医療機関
６．隣近所の人
７．保健や福祉サービスを提供している施設や事業者
８．地区の民生委員児童委員
９．相談せずに自分で解決する
10．保健や福祉にかかわる活動をしているＮＰＯやボランティア団体
11．社会福祉協議会
12．その他（　　）

13．特にない

問14　あなたが日々の生活をする上で、必要な支援を行うべき担い手はどこだと思いますか。
（あてはまるものすべてに○）

１．行政機関（市役所や区役所など）
２．支援を必要とする人の家族
３．保健や福祉のサービスを提供する施設や事業者
４．社会福祉協議会
５．地域の住民
６．民生委員児童委員
７．ＮＰＯやボランティア団体
８．その他（　　）

９．特にない

＜保健福祉に関するボランティアについて＞

問15　あなたは、保健福祉に関するボランティア※について活動した経験がありますか。
（○は１つ）

１．現在、活動している　→　問 15－（１）
２．以前活動していたが、現在は行っていない　→　問 15－（１）
３．活動したことはない　→　問 15－（２）

※　保健福祉に関するボランティア：例えば福祉施設における介助のお手伝いや、一人暮らし高齢者のための会食会など、保健や福祉に関連したボランティアのこと

問15－（１）　問15で「１」または「２」と答えた方にうかがいます。
保健福祉に関するボランティア活動に参加した動機やきっかけは何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

１．人の役に立ちたいから	７．趣味や特技を活かしたいから
２．自分たちのために必要な活動だから	８．楽しそうだから
３．友人、知人、家族から誘われたから	９．付き合い上、やむを得ず
４．学校の授業などで機会があったから	10．その他
５．困っている人や団体から頼まれたから	（　　）
６．余暇を有効に活用したいから	11．なんとなく

問15－（２）　問15で「３」と答えた方にうかがいます。
あなたが保健福祉に関するボランティア活動に参加したことがない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

１．仕事や家事が忙しくて時間がとれないから
２．身近に活動できる場所やグループがない（知らない）から
３．活動したいとは思っているがきっかけがないから
４．自分の健康に自信がないから
５．一度はじめると拘束されてやめられなくなりそうだから
６．育児や介護を必要とする家族がいて余裕がないから
７．ボランティア活動自体に興味がないから
８．保健や福祉に関する活動は行政や事業者に任せるべきだと思うから
９．人と接するのが好きではないから
10．保健や福祉の分野にはあまり興味がないから
11．活動に費用がかかりそうだから
12．他の分野のボランティア活動をしているから
13．その他（　　）

14．特にない

■　ゴミに関する意識について

＜ごみの減量への取り組みについて＞

川崎市では、地球環境にやさしい循環型のまちを目指した廃棄物処理を推進していくこととしています。あなたが現在行っているごみ減量やリサイクルの取り組み、川崎市の今後の施策展開などについて、以下の問にお答えください。

問16　ごみ減量やリサイクルについては、市民の方々、一人ひとりが取り組んでいくことが必要です。この点について、現在、ご家庭で取り組んでいることはありますか。

（あてはまるものすべてに○）

１．過剰包装やレジ袋を断る
２．ごみにならないものやリサイクルできるものを選ぶ
３．再生品を積極的に使う
４．生ごみを電動生ごみ処理機やコンポスト化容器で処理する
５．びん、缶、ペットボトルを市の分別収集に出す
６．発泡トレイ、牛乳パックなどはスーパーや区役所の拠点回収に協力する
７．新聞、雑誌、段ボールなどを排出する時は資源集団回収を利用する
８．その他（　　）

９．特にない

＜生ゴミのリサイクルについて＞

現在、生ごみは家庭などから出されるごみの約４割を占めています。生ごみの発生抑制やリサイクルが重要な問題となっていることから、川崎市では、「生ごみコンポスト化容器」および「電動生ごみ処理機等」の購入助成を行っています。

＊生ごみコンポスト化容器

お庭のある家庭向け。容器の底があいており、土に接するようになっている。容器に生ごみを入れていくと、生ごみの水分は地中に吸収され、残った生ごみは地中の微生物の働きにより発酵・分解され堆肥になる。

＊家庭用生ごみ処理機

コンパクトな形で狭い場所にも設置できる。電気を利用して生ごみを短時間で乾燥、微生物分解し、生ごみを減量、堆肥化する機械。

問17　生ごみはコンポスト化容器や電動生ごみ処理機を使って処理すると堆肥や肥料として、活用することができます。

あなたは、生ごみのリサイクルを実践することに興味がありますか。（○は１つ）

１．既に実践している　→　問18へ
２．興味があるし、実践してみたい　→　問 17－（１）へ
３．興味があるが、実践するのは難しい（できない）　→　問 17－（２）へ
４．まったく興味がない　→　問18へ

問17－（１）　問17で「２」と答えた方にうかがいます。

現在、川崎市では生ごみ処理機※（主に電動式）の購入に際し、１万円を限度額として購入金額の半額を助成しています。

あなたが、実際に生ごみリサイクルに取り組むために、生ごみ処理機を購入してもよい金額（助成金を含まず）はどの程度ですか。（○は１つ）

１．５万円以上
２．３万円～５万円
３．１万円～３万円
４．１万円以下

※電動生ごみ処理機の通常販売価格：４万円～７万円程度

問17－（２）　問17で「３」と答えた方にうかがいます。

実践するのが難しい理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

１．生ごみを分別するのが面倒だ
２．外食等が多く、普段の生活で生ごみがあまり出ない
３．実践方法がわからない
４．できた堆肥・肥料の使いみちがない
５．その他（　　）

問18　川崎市では、平成16年２月から生ごみリサイクルモデル事業を実施しています。このモデル事業では、集合住宅へ処理機を設置し、お住まいの方が生ごみを処理機に投入し、できた堆肥を畑などに活用するといった取り組みも行っています。

あなたのお住まいの集合住宅や地域でこのような取り組みを行った場合、その活動に協力しますか。（○は１つ）

１．対象地域になった場合、協力する
２．協力することはできない
３．わからない

＜資源集団回収について＞

川崎市では、新聞・雑誌・ダンボール・牛乳パックといった古紙、古布、生きびんは、町内会・学校ＰＴＡ・マンション管理組合等の実施団体が回収業者と契約して回収を行う「資源集団回収」に出していただくようお願いしています。

問19　新聞・雑誌・ダンボール・牛乳パック等の古紙類の出し方についてうかがいます。古紙類はどのように出していますか。（それぞれについてあてはまるものすべてに○）

	資源集団回収に出している	資源集団回収以外の回収に出している	普通ごみに出している	その他の方法で出している	わからない
１．新聞	１	２	３	４	５
２．雑誌	１	２	３	４	５
３．ダンボール	１	２	３	４	５
４．牛乳パック	１	２	３	４	５
５．古布	１	２	３	４	５

問19－（１）　問19の「１．新聞、２．雑誌・・・５．古布」のうち、１つでも「１．資源集団回収に出している」と答えた方にうかがいます。
資源集団回収に出している理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

１．近所の人がやっているから
２．資源集団回収に出すと古紙がリサイクルされるから
３．町内会やＰＴＡに交付される奨励金が多くなるから
４．その他（　　）

問19－（２）　問19の「１．新聞、２．雑誌・・・５．古布」のうち、１つでも「３．普通ごみに出している」と答えた方にうかがいます。
資源集団回収を利用しない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

１．資源集団回収を知っているが、回収場所が遠い、回収日が少ない
２．資源集団回収を知っているが、回収場所・回収日がわからない
３．資源集団回収で出すことを知らなかった
４．分別するのが面倒だ
５．その他（　　）

問20　資源集団回収の対象品目である古布は、東南アジアへ輸出されたり、ウエス（ぞうきん等）として活用されたりするなどリサイクルされます。
　あなたは、古布のリサイクルを推進するために、どういったことに協力していきたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

１．資源集団回収に出す
２．区役所や生活環境事業所で引取りを行ってくれれば、協力したい
３．フリーマーケットやリサイクルショップを活用する
４．家族や近所の人へ譲る
５．その他（　　）

＜３Ｒの施策の推進について＞

問21　川崎市では地球環境にやさしい循環型のまちを目指して、ごみの発生・排出抑制（Reduce・リデュース）、再使用（Reuse・リユース）、再生利用（Recycle・リサイクル）という、いわゆる３Ｒの施策を推進しています。
　あなたは、今後の３Ｒの施策を推進のために、どのような取り組みが重要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

１．ごみ処理・ごみ減量等に関する情報提供
２．レジ袋の削減など、容器包装の減量化
３．ミックスペーパー、プラスチック類など分別収集の拡充
４．古布、廃蛍光灯などの拠点回収の充実
５．ごみ処理・ごみ減量等に関する環境教育の充実
６．その他（　　）

■　道路について

川崎市では、今後、道路整備の計画について策定してく予定です。道路利用者のご意見を計画に反映するため、道路整備の進め方などについて、以下の問にお答えください。

【記入の仕方】

設問例）

問Ａ　道路についてうかがいます。各項目はあなたにとってどのくらい重要だと思いますか。重要度の高いと思うものから順位を付けてください。

回答例）

「安全な道路」が最も重要、続いて「緑が多い道路」、「走りやすい道路」の順に重要度が高いと思う場合。

項目	順位	
１．走りやすい道路	３	位
２．安全な道路	１	位
３．緑が多い道路	２	位

（１位から３位まで記入）

問22～30の設問では、徒歩・自転車・バイク・バス・自動車などで川崎市の道路を使う場合を想定してお答えください。

問22　道路利用時の交通手段についてうかがいます。ふだん道路を利用する際、どのような交通手段をご利用になりますか。利用頻度の多いと思うものから順位を付けてください。
（利用しないものは空欄でもかまいません。）

◇「道路利用時の交通手段」について

項目	順位	
１．徒歩		位
２．自転車		位
３．バイク（原付含む）		位
４．バス		位
５．自動車（送迎含む）		位

（１位から５位まで記入）

問23　道路の機能（役割）の向上についてうかがいます。各項目はあなたにとってどのくらい重要だと思いますか。重要度の高いと思うものから順位を付けてください。

◇「道路の機能（役割）の向上」について

項目	順位	
１．移動のしやすさの向上（※１）		位
２．安全性の向上（※２）		位
３．沿道環境の向上（※３）		位

（１位から３位まで記入）

※１　移動のしやすさの向上：■自動車等で移動する際に、渋滞が存在せず、所要時間が読めるなどの移動のしやすさを向上させる。

※２　安全性の向上　：■歩行者、自転車、自動車の安全性（交通安全）を向上させる。
■お年寄りや体の不自由な方など、誰でも安心して通行できるようにする。

※３　沿道環境の向上　：■街路樹などの緑化を推進する。
■騒音・振動・排ガスへの対策を行う。
■歩道のカラー舗装化、ガードレールの美観化などの景観の向上を図る。

問24　道路利用時のある２地点間の移動のしやすさの向上についてうかがいます。各項目はあなたにとってどのくらい重要だと思いますか。重要度の高いと思うものから順位を付けてください。

◇「ある２地点間の移動のしやすさの向上」について

項目	順位	
１．長距離の移動のしやすさの向上（市外の拠点への移動など）		位
２．短距離の移動のしやすさの向上（市域内の移動など）		位
３．都市の拠点周辺での移動のしやすさの向上（川崎駅周辺など）		位

（１位から３位まで記入）

問25　道路利用時のある地点への移動のしやすさの向上についてうかがいます。各項目はあなたにとってどのくらい重要だと思いますか。重要度の高いと思うものから順位を付けてください。

◇「ある地点への移動のしやすさの向上」について

項目	順位	
１．日常生活でのスーパーマーケットや病院等への移動のしやすさの向上		位
２．最寄り駅への移動のしやすさの向上		位
３．都市拠点（商業地域）への移動のしやすさの向上		位
４．空港、高速道路（IC）への移動のしやすさの向上		位

（１位から４位まで記入）

問26　道路整備の方針についてうかがいます。各項目はあなたにとってどのくらい重要だと思いますか。重要度の高いと思うものから順位を付けてください。

◇「道路整備の方針」について

項目	順位	
１．道路の新設（道路を新たにつくることにより、既存道路の混雑を分散する）		位
２．道路の拡幅（道路を拡幅することにより、既存道路の混雑を軽減する）		位

（１位と２位を記入）

問27　道路渋滞の解消方法についてうかがいます。各項目はあなたにとってどのくらい重要だと思いますか。重要度の高いと思うものから順位を付けてください。

◇「道路渋滞の解消方法」について

項目	順位	
１．交差点の渋滞の解消（右折車線の設置などの交差点改良）		位
２．駐停車車両等による渋滞の解消（バス停スペースの確保など）		位
３．踏切による渋滞の解消（踏切除去など）		位

（１位から３位まで記入）

問28　沿道環境の向上についてうかがいます。各項目はあなたにとってどのくらい重要だと思いますか。重要度の高いと思うものから順位を付けてください。

◇「沿道環境の向上」について

項目	順位	
１．道路緑化の推進		位
２．騒音・振動・排ガスへの対策の強化		位
３．歩道のカラー舗装化、ガードレールの美観化、電線類の地中化などの景観の向上		位

（１位から３位まで記入）

問29　道路の使いやすさについてうかがいます。各項目はあなたにとってどのくらい重要だと思いますか。重要度の高いと思うものから順位を付けてください。

◇「道路の使いやすさ」について

項目	順位	
１．歩行者・自転車が使いやすい道路		位
２．自動車が使いやすい道路		位

（１位と２位を記入）

問30　道路整備の手段・方法についてうかがいます。各項目はあなたにとってどのくらい重要だと思いますか。重要度の高いと思うものから順位を付けてください。

◇「道路整備の手段・方法」について

項目	順位	
１．道路の渋滞解消		位
２．交通安全対策 （事故を減らすなど）		位
３．道路のバリアフリー化（※４） （歩道の段差解消など）		位
４．環境対策 （道路の緑化、騒音対策など）		位

（１位から４位まで記入）

※４　バリアフリー化：体の不自由な人でも支障なく活動できるような生活環境を作ること。

■　あなたご自身について

Ｆ１　性別（○は１つ）

１．男性	２．女性

Ｆ２　年齢（○は１つ）

１．20～24歳	５．40～44歳	９．60～64歳
２．25～29歳	６．45～49歳	10．65～69歳
３．30～34歳	７．50～54歳	11．70～74歳
４．35～39歳	８．55～59歳	12．75歳以上

Ｆ３　あなたのお仕事は、この中のどれですか。（○は１つ）

１．自営業主 ２．家族従業（家業手伝い） ３．勤め（全日） ４．勤め（パートタイム）	５．内職 ６．主婦・主夫（家事専業） ７．学生 ８．無職（年金生活者を含む） ９．その他

（Ｆ３で「１」～「４」とお答えの方にうかがいます）

Ｆ３－（１）　お仕事の内容を具体的にお聞かせください。（○は１つ）

自営業主・家族従業の方 （１～３の中からお選びください。）	勤め（全日・パートタイム）の方 （４～８の中からお選びください。）
１．農林漁業 ２．商工サービス業 ３．自由業	４．経営・管理職 ５．専門・技術職 ６．事務職 ７．技能・労務職 ８．販売・サービス職

Ｆ４　お勤め先あるいは通学先はどちらですか。（○は１つ）

１．川崎市内（お住まいと同じ区）	５．東京都（２３区内）
２．川崎市内（お住まいと別の区）	６．東京都（２３区以外）
３．横浜市	７．その他
４．神奈川県内（川崎市・横浜市以外）	８．通勤・通学していない

Ｆ５　ふだん最寄り駅までどのような交通手段をご利用になりますか。（○は１つ）

１．徒歩	３．バイク（原付含む）	５．自動車（送迎含む）
２．自転車	４．バス	

Ｆ６　あなたの現在のお住まいは、この中のどれにあたりますか。（○は１つ）

１．持ち家（一戸建）	５．借家（民間アパート・間借・下宿）
２．持ち家（マンション・団地）	６．社宅・寮・公務員住宅
３．借家（一戸建）	７．その他
４．借家（マンション・団地・公営住宅）	

Ｆ７　現在、同居しているご家族は、あなたを含めて何人いらっしゃいますか。

（○は１つ）

１．1人	３．3人	５．5人	７．7人以上
２．2人	４．4人	６．6人	

Ｆ８　６５歳以上の方は同居していらっしゃいますか。（○は１つ）
（ご自分が６５歳以上の方は１に○をつけて下さい。）

１．いる	２．いない

Ｆ９　あなたが現在お住まいの区はどちらですか。（○は１つ）

１．川崎区	５．宮前区
２．幸区	６．多摩区
３．中原区	７．麻生区
４．高津区	

Ｆ10　あなたのお住まいの地域の様子は、次のどれにあたりますか。（○は１つ）

１．オフィスビル、商業ビル、商店などがある地域
２．古くからの住宅が中心となっている地域
３．新しく開発された住宅地域
４．住宅と工場が混在している地域
５．まわりに田畑や山林などの森が残されている地域
６．その他（　　）

最後に、川崎市の市政について、ご意見やご要望等がございましたら、どんなことでもご自由に記入してください。

以上でアンケートは終了です。
ご協力大変にありがとうございました。

かわさき市民アンケート

平成１８年１１月

【ご記入にあたってのお願い】

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

◎ この調査は、行政上の基礎資料として活用することを目的としていますので、他の目的に使用することは決してありません。

◎ **この調査は無記名調査です。あなたのお名前やご住所を書いていただく必要はありません。**

◎ この調査の結果はすべてコンピューターで一括処理を行い、統計的な集計・分析だけに用いられますので、**個々のお答えの内容や皆様の個人情報が外部に漏れることは一切ありません。**

〈お願い〉

◆ あて名のご本人がお答えください。

◆ ご記入は、濃いえんぴつまたはボールペン・万年筆でお願いいたします。

◆ お答えは、あてはまる答えの番号を○で囲んでください。

「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが、（　　）内になるべく具体的に、その内容をご記入ください。

◆ お答えは、設問ごとに（○は１つ）（○は２つまで）など指定されていますので、お間違えのないようお気を付けください。

◆ 設問によっては、ご回答していただく方が限られる場合がありますので、注意書きをお読みください。

◆ ご記入いただいた調査票は、**１２月１日（金）**までに同封の返信用封筒（切手不要）に入れて投函してくださいますようお願いいたします。

本調査についてご不明な点がありましたら、下記調査担当課までお問い合わせください。

〈調査担当課〉川崎市総務局市民情報室市民の声担当
ＴＥＬ：044-200-2291（直通）
〒210-8577　川崎市川崎区宮本町１番地

R100
古紙パルプ配合率100％再生紙を使用

■　定住状況について

問１　今のところにお住まいになって、何年になりますか。（○は１つ）

１．１年未満	５．10年～20年未満
２．１～３年未満	６．20年以上
３．３～５年未満	７．生まれてからずっと住んでいる
４．５～10年未満	

問２　あなたは、これからも今のところにお住まいになりたいですか。（○は１つ）

１．これからも住んでいたい
２．できれば市内の他の区へ移りたい
３．できれば市外へ移りたい
４．わからない

→ 問２－（１）、（２）へ

問２－（１）　問２で「２」または「３」と答えた方にうかがいます。
今のところから移りたい、または移る理由は何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

１．自分や家族の就職・転職・転勤のため	８．商店がなくなるなど日常生活の便が悪くなったため
２．周辺の住民が減って商売が不振のため	９．地域のコミュニティが希薄になり住みにくくなったため
３．地代・家賃が高いため	10．子どもの教育環境が悪くなったため
４．固定資産税・相続税の負担が大きいため	11．立ち退きを迫られているため
５．住宅が狭いため	12．結婚など家族関係の変化のため
６．日照・騒音などの環境が悪くなったため	13．その他（　　）
７．不特定多数の人の行き来が増えるなど安心して暮らせないため	

問２－（２）　問２で「２」または「３」と答えた方にうかがいます。
どこに住みたいと思いますか。（○は２つまで）

《市内》（１～７の中からお選びください。）	《市外》（８～１２の中からお選びください。）
１．川崎区	８．横浜市
２．幸区	９．神奈川県内（川崎市・横浜市を除く）
３．中原区	10．東京23区
４．高津区	11．23区以外の東京都
５．宮前区	12．その他の道府県
６．多摩区	
７．麻生区	

■　生活環境の評価について

問３　あなたのお住まいの周りの生活環境について、うかがいます。
次にあげる項目についてどの程度満足していますか。（○はそれぞれ１つずつ）

	満足している	まあ満足している	少し不満である	不満である	わからない
（ア）地震・火災・風水害などの災害に対する安全さ	1	2	3	4	5
（イ）風紀上・防犯上の安全さ	1	2	3	4	5
（ウ）交通事故・危険物からの安全さ	1	2	3	4	5
（エ）空気や川、海のきれいさ	1	2	3	4	5
（オ）家の周りの静けさ	1	2	3	4	5
（カ）公園や緑の豊かさ	1	2	3	4	5
（キ）通勤・通学の便利さ	1	2	3	4	5
（ク）買い物の便利さ	1	2	3	4	5
（ケ）病院や医院までの近さ	1	2	3	4	5
（コ）休日、夜間などの救急医療体制の高さ	1	2	3	4	5
（サ）市民館、図書館、スポーツ施設などの近さ	1	2	3	4	5
（シ）市や区の窓口サービスの便利さ	1	2	3	4	5

問４　地域の生活環境を総合的に見た場合、今住んでいる地域に、どの程度満足していますか。（○は１つ）

１．満足している	３．少し不満である	５．わからない
２．まあ満足している	４．不満である	

■　関心ごとと行動範囲について

問５　あなたが、現在特に関心をお持ちのことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

１．子ども	９．趣味・娯楽
２．家族	10．スポーツ・レジャー
３．友人・知人	11．信仰・宗教
４．住宅・土地	12．政治
５．金・財産	13．ボランティア活動
６．健康	14．地域活動（町会・自治会、子ども会等）
７．仕事（家事や勉強も含む）	15．その他
８．老後の生活	16．特にない

問６　あなたは、行楽や文化施設の利用・ショッピングなどをされる場合、主にどこに行かれますか。　（○はそれぞれ１つずつ）

	川崎市内	横浜市内	川崎市・横浜市以外の神奈川県	東京２３区	その他の地域	そういうことはしないのでわからない
（ア）自然に親しむための近距離の行楽	1	2	3	4	5	6
（イ）遊園地や動物園等のレジャー施設での行楽	1	2	3	4	5	6
（ウ）観劇や映画鑑賞	1	2	3	4	5	6
（エ）音楽会や美術展	1	2	3	4	5	6
（オ）趣味を生かす講習や練習（音楽・演劇・美術等）	1	2	3	4	5	6
（カ）図書館の利用	1	2	3	4	5	6
（キ）美術館・博物館の利用	1	2	3	4	5	6
（ク）レストランなどでの飲食	1	2	3	4	5	6
（ケ）洒落たものや高価なものを買うためのショッピング	1	2	3	4	5	6
（コ）スポーツをする（観る）	1	2	3	4	5	6

■　市政に対する評価と要望について

問７　市政について総合的にうかがいます。
次にあげる仕事の中で、よくやっていると思われるものは、どれですか。
（あてはまるものすべてに○）

問８　また、今後特に力を入れてほしいとお考えのものは、どれですか。
（あてはまるものすべてに○）

	問７ よくやっていると思うもの	問８ 今後特に力を入れてほしいもの
１．保育所や子ども文化センターの建設など、子どものための施策	1	1
２．老人ホーム建設、老人医療の充実など、高齢者のための施策	2	2
３．心身の不自由な人のための施策	3	3
４．病院、診療所の整備や救急医療体制の整備	4	4
５．健康診断、がん検診、健康相談など、健康づくりのための施策	5	5
６．市民が学習する機会や施設の整備	6	6
７．スポーツ・レクリエーションの施設整備	7	7
８．小・中・高校の施設整備や教育内容の充実のための施策	8	8
９．消防力の強化や防災体制の整備	9	9
10．防犯対策	10	10
11．交通安全対策	11	11
12．道路、公園、広場の美化・清掃	12	12
13．公園の整備や維持管理	13	13
14．自然や緑の保全	14	14
15．大気汚染や騒音・振動などの公害防止対策	15	15
16．河川の整備	16	16
17．日常のごみ収集やリサイクル	17	17
18．下水道の整備	18	18
19．市営住宅の建設・整備	19	19
20．飲料水の安定供給	20	20
21．主要な駅周辺の再開発	21	21
22．市民が親しむことのできる港湾の整備	22	22
23．道路・歩道の整備	23	23
24．バスなどの交通網の整備	24	24
25．放置自転車、駐輪場の整備などの自転車対策	25	25
26．美術館、各種ホールなど文化施設の整備	26	26
27．映画祭、国際会議など文化的な催しや活動	27	27
28．海外姉妹都市との国際交流事業	28	28
29．市や区の仕事などについての情報提供	29	29
30．市政への市民参加の促進のための施策	30	30
31．女性の地位向上のための施策	31	31
32．中小企業などで働く人々の生活と権利を守る施策	32	32
33．地域の問題が解決できるような区役所機能の強化	33	33
34．特にない	34	34
35．わからない	35	35

問９　川崎市が進めている施策や事業を総合的に見た場合、どの程度満足していますか。（○は１つ）

１．満足している	３．少し不満である	５．わからない
２．まあ満足している	４．不満である	

■　川崎市の広域拠点のイメージについて

川崎市では、個性と魅力にあふれた広域的な拠点形成を推進しています。

川崎駅周辺地区では、９月には川崎駅西口に「ラゾーナ川崎プラザ」がオープンするなど、既存の高い商業・業務機能の集積を活かしながら川崎市の中心的な広域拠点として機能強化を推進しています。

小杉駅周辺地区では、ＪＲ横須賀線・武蔵小杉新駅の整備（平成21年度中の開業を目標）などにより交通結節機能を向上させるとともに、駅前広場や道路等の公共施設を整備改善し、商業・業務、文化交流、都市型居住等の機能が集積した広域的な拠点の形成を目指しています。

新百合ヶ丘駅周辺地区では、活発な市民活動をまちづくりに活かしながら、文化や芸術の情報の発信や交流の促進などにより魅力ある広域拠点の形成を推進しています。

問10　あなたは、次の広域拠点（川崎駅周辺地区、小杉駅周辺地区、新百合ヶ丘駅周辺地区）のイメージについてどう思いますか。（○はそれぞれ１つずつ）

【川崎駅周辺地区】

《イメージ》	そう思う	どちらともいえない	そう思わない
（ア）都会的	1	2	3
（イ）明るい	1	2	3
（ウ）若々しい	1	2	3
（エ）誇れる	1	2	3
（オ）心の安らぐ	1	2	3
（カ）親しみのある	1	2	3
（キ）おしゃれ	1	2	3
（ク）活気がある	1	2	3
（ケ）治安がよい	1	2	3
（コ）物価が安い	1	2	3

【小杉駅周辺地区】

《イメージ》	そう思う	どちらともいえない	そう思わない
（ア）都会的	1	2	3
（イ）明るい	1	2	3
（ウ）若々しい	1	2	3
（エ）誇れる	1	2	3
（オ）心の安らぐ	1	2	3
（カ）親しみのある	1	2	3
（キ）おしゃれ	1	2	3
（ク）活気がある	1	2	3
（ケ）治安がよい	1	2	3
（コ）物価が安い	1	2	3

【新百合ヶ丘駅周辺地区】

《イメージ》	そう思う	どちらともいえない	そう思わない
（ア）都会的	1	2	3
（イ）明るい	1	2	3
（ウ）若々しい	1	2	3
（エ）誇れる	1	2	3
（オ）心の安らぐ	1	2	3
（カ）親しみのある	1	2	3
（キ）おしゃれ	1	2	3
（ク）活気がある	1	2	3
（ケ）治安がよい	1	2	3
（コ）物価が安い	1	2	3

■　安全・安心のまちづくりについて

川崎市では、市民・事業者・関係団体・警察及び行政が連携して防犯対策の取組みを進めるため、平成17年度に「安全・安心まちづくり推進協議会」を設立し、地域における自主防犯活動に対して、きめこまやかな支援を行っています。

「防犯」について、以下の問にお答えください。

問11　ここ２～３年の間に、あなたがお住まいの地域での治安状況はどのようになったとお感じですか。（○は１つ）

１．非常に良くなった	３．変わらない	５．非常に悪くなった
２．やや良くなった	４．やや悪くなった	６．わからない

問12　今後、あなたがお住まいの地域での治安状況は、どのようになると思いますか。
（○は１つ）

１．非常に良くなる	３．変わらない	５．非常に悪くなる
２．やや良くなる	４．やや悪くなる	６．わからない

問13　地域で行われている防犯パトロール等の活動に参加していますか。　（○は１つ）

１．参加している

２．防犯パトロール等が行われているのは知っているが、参加していない
３．防犯パトロール等が行われていることを知らない

↓

問 13－（１）へ

問13－（１）　問13で「２」または「３」と答えた方にうかがいます。
今後、地域で行われている防犯パトロール等に参加したいと思いますか。
（○は１つ）

１．ぜひ参加したい	３．あまり参加したくない
２．時間があれば参加したい	４．まったく参加したくない

問14　あなたは、事件・事故のない安全なまちづくりのために、次のような取組みが効果的だと思いますか。（○はそれぞれ１つずつ）

	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	わからない
１．インターネットによる犯罪発生状況などの情報提供	１	２	３	４
２．防犯カメラ・街頭緊急通報装置の設置	１	２	３	４
３．防犯灯や街灯の増設	１	２	３	４
４．地域住民による防犯パトロールの支援	１	２	３	４
５．警備員（ガードマン）によるパトロールの実施	１	２	３	４
６．市公用車によるパトロール活動の実施	１	２	３	４
７．青色回転灯を装着した車両によるパトロールの実施	１	２	３	４
８．警察のパトロール強化	１	２	３	４
９．地域安全マップの導入※	１	２	３	４
10．自治体による条例の制定	１	２	３	４
11．警察・自治体の連携によるキャンペーンなどの実施	１	２	３	４
12．一人ひとりの防犯意識の高揚	１	２	３	４
13．防犯研修会・講習会の実施	１	２	３	４
14．犯罪取締りの徹底・犯罪の検挙	１	２	３	４
15．警察官の増員	１	２	３	４
16．地域の自主的な防犯活動に対する補助金制度の創設	１	２	３	４
17．こども１１０番の家・民間交番・セーフティーステーション（コンビニエンスストア）などの展開	１	２	３	４

※地域安全マップ：犯罪が起こりやすい場所を表示した地図

問15　あなたは、子供の安全を守るために、どのような取組みがもっとも効果的だと思いますか。（○は１つ）

１．日ごろから地域とのつながりを深める
２．親やボランティアがパトロールをする
３．家庭や学校で防犯について教える
４．通学路など街頭に防犯カメラを設置する
５．子供に防犯ブザーや携帯電話などを持たせる
６．その他（具体的に：　　）

川崎市では、道路等における喫煙を防止し、歩行者の安全を確保するために、「川崎市路上喫煙の防止に関する条例」を平成18年４月１日に施行しています。

問16　川崎市で路上喫煙防止条例が施行されていることを知っていますか。（○は１つ）

１．知っている　　２．知らない

■　選挙について

平成19年春には川崎市議会議員選挙・神奈川県議会議員選挙及び神奈川県知事選挙が統一地方選挙として同時に行われ、引き続き、夏には参議院議員通常選挙が予定されています。これらの選挙について、以下の問にお答えください。
※質問の中の「2つの選挙」とは、「統一地方選挙と参議院議員通常選挙」を表します。

問17　あなたは、平成19年中に２つの選挙が行われることを知っていますか。（○は１つ）

１．知っている
２．統一地方選挙が行われることは知っているが、参議院議員通常選挙の行われることは知らない
３．参議院議員通常選挙が行われることは知っているが、統一地方選挙の行われることは知らない
４．２つの選挙が行われることは知らない

問18　あなたが、来年行われる２つの選挙について、情報源として効果的だと思うものは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

１．市政だより
２．白バラかわさき選挙特集号
３．ポスター
４．チラシ
５．投票所案内ハガキ
６．市・区役所の広報車による広報
７．バスの正面幕
８．ごみ収集車による広報
９．タクシー等の広告（ドアステッカー・リアウインドシール）
10．ヘリコプターによる広報
11．市・区役所、スーパー等の懸垂幕、歩道橋等の横断幕、街路等ののぼり旗
12．街頭啓発キャンペーン
13．イベントカー（ＳＬや動物を模した車等）による広報
14．新聞広告
15．タウン誌、フリーペーパー（無料誌）等の広告
16．テレビ・ラジオによる広報
17．街頭の大型映像（アゼリアビジョン等）による広報
18．スーパーマーケット・商店街の放送
19．ホームページ（インターネット）への掲載
20．サンキューコールかわさき（川崎市総合コンタクトセンター）
21．選挙公報
22．その他（効果的と思うものがあればご記入ください）

（　　）

問19　あなたは、来年行われる２つの選挙で投票しますか。（○は１つ）

１．２つとも投票する
２．統一地方選挙は投票するが、参議院議員通常選挙は投票しない
３．参議院議員通常選挙は投票するが、統一地方選挙は投票しない
４．投票しない
５．投票するか、しないか決めていない

問 19－（１）へ

問19－（１）　問19で「２」～「４」と答えた方にうかがいます。
投票しない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

１．どの人、どの政党がよいかわからないから
２．自分ひとりが投票しなくても選挙に影響ないと思うから
３．当選すると思われる人や選挙結果がほぼ分かっているから
４．政治や選挙に関心がないから
５．仕事や育児等で忙しく時間がとれないから
６．行くのが面倒だから
７．その他（上記以外の投票しない理由を具体的にご記入ください）
（　　）

問20　投票日に用事のある方は、投票日の前に投票できる期日前投票・不在者投票制度がありますが、この制度を知っていますか。（○は１つ）

１．知っている　→　問 20－（１）、（２）へ
２．知らない　→　「選挙について」の質問は終了です。
10 ページの制度説明をご覧ください。

問20－（１）　問20で「１．知っている」と答えた方にうかがいます。
期日前投票・不在者投票制度を利用したことがありますか。（○は１つ）

１．利用したことがある　　２．利用したことがない

問20－（２）　問20で「１．知っている」と答えた方にうかがいます。
期日前投票・不在者投票制度について、どう思いますか。
（あてはまるものすべてに○）

１．期日前投票・不在者投票制度は便利である
２．期日前投票・不在者投票は手続きが面倒である
３．期日前投票・不在者投票の実施場所が不便である
４．その他（期日前投票・不在者投票に関し、ご意見を具体的にご記入ください）
（　　）

＜期日前投票・不在者投票制度とは＞

選挙は、投票日に投票所で行うことを原則としていますが、仕事や旅行などの理由で、投票日に投票所へ行けないと見込まれる方のために、投票日前に一定の場所で投票できる制度として、期日前投票・不在者投票制度があります。

１　期日前投票制度

選挙人名簿に登録されている区で投票する方法です。

【投票期間】投票日（選挙期日）の告（公）示日の翌日～投票日（選挙期日）の前日
（※土・日曜日も投票できます。）

【投票時間】午前８時30分～午後８時
（※正午～午後１時の間もできます。）

【投票場所】お住まいの（選挙人名簿に登録されている）区の
選挙管理委員会事務室（区役所内）、支所、出張所

２　不在者投票制度

（１）他の市区町村で投票する方法

選挙人名簿登録地でない市区町村に滞在中の方は、滞在地の選挙管理委員会で不在者投票をすることができます。

（２）病院・老人ホームで投票する方法

都道府県選挙管理委員会が指定した病院や老人ホームなどに入院・入所している方は、その施設内で投票することができます。

（３）郵便等で投票する方法

重度の身体障害のある方で身体障害者手帳をお持ちの方、要介護の方で被保険者証をお持ちの方は、「郵便等による不在者投票」の制度を利用できる場合もあります。

川崎市の選挙マスコットキャラクター「イックン」

■　救急車利用について

川崎市の救急件数は、平成17年は59,636件で、平成16年に比べ2,505件（4.4%）増加しています。1日平均の救急車の出場件数は163.4件（約8分48秒に1件の割合で出場）、搬送人員は、54,162人（市民24.4人に1人）となっており、１１９番受信時からの現場到着時間は、平均6分40秒で、5年前に比べ34秒遅れています。

また、傷病者の程度の割合は、軽症者が最も多く全体の58.8%を占め、次に中等症が34.0%、重症が6.4%の順になっています。

このまま件数の増加が続くと、119番通報されたときに、救急車が出場中で現場到着が遅れるなどの事態が起こることが危惧されます。

救急車の利用について、以下の問にお答えください。

問21　あなたは、今までに、１１９番通報して救急車を呼んだことがありますか。（○は１つ）

１．あ　る	２．な　い

問22　川崎市の救急車の平均到着時間は６分40秒ですが、この時間についてどう思いますか。（○は１つ）

１．長いと思う	３．短いと思う
２．妥当な時間だと思う	４．わからない

問23　あなたは、普段、かかりつけの病院や急病・緊急時の病院を決めていますか。（○は１つ）

１．かかりつけの病院も急病・緊急時の病院も決めている
２．かかりつけの病院は決めているが、急病・緊急時の病院は決めていない
３．急病・緊急時の病院は決めているが、かかりつけの病院は決めていない
４．かかりつけの病院も急病・緊急時の病院も決めていない

問24　あなたは、急病・緊急時、病院に受診したい場合、最初にどうしますか。（○は１つ）

１．電話帳やインターネットなどで受診できそうな病院を調べて連絡する
２．救急医療情報センターへ電話する
３．１１９番する
４．かかりつけの病院へ電話する
５．あらかじめ決めている急病・緊急時の病院へ電話する
６．その他（具体的に：　　）

問25　救急業務は、法令上、「災害や事故によるけが、または生命に危険を及ぼしたり著しく悪化するような病気で、緊急に病院へ搬送する必要のある方」を対象としています。
救急車で搬送された方のうち、軽症の方が約６割を占めている現状から、あなたは、救急車の適正利用について、どう思いますか。（あてはまるものすべてに○）

１．軽症であっても、１１９番に救急車を要請すると思うので、要請が多くなって救急車が現場へ到着する時間が遅れることは仕方がない
２．軽症の場合は、患者やその周囲の人が、救急医療情報センターや電話帳などで病院を調べ、自家用車やタクシー、民間の救急搬送事業者を利用するなど、利用者が適正利用に気をつけるべきである
３．行政は、利用者や市民に対し、救急車の利用基準を示すなど、広く広報して、適正利用を図っていくことが大切である

■　火災予防について

問26　火災の発生原因は、放火が昭和51年から第１位ですが、あなたは放火防止対策で何が大切だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

１．家の周りは整理整頓し、雑誌、新聞紙等の燃えやすいものは置かない
２．家の周りや駐車場は、外灯をつけて明るくする
３．車庫や物置は必ずカギを掛ける
４．ごみは決められた収集日の朝に出す
５．消火器を常備する
６．自動車等のボディカバーは防炎品を使用する
７．家族で放火防止の話し合いをする
８．その他（対策を具体的にご記入ください）
（　　）

問27　あなたがお住まいの住宅の建築年月日は次のどれにあてはまりますか。（○は１つ）

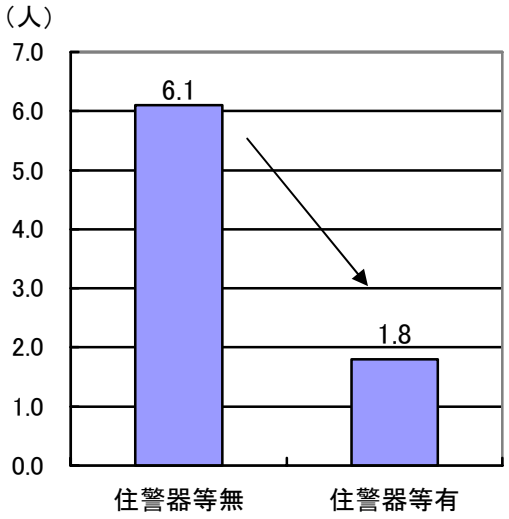
１．平成18年６月１日以降
２．平成18年５月31日以前

問28　川崎市では、住宅用火災警報器を、新築住宅は平成18年６月１日から、すでにお住まいの住宅は平成23年５月31日までに、寝室、台所、階段に設置することが義務化されましたが知っていますか。（○は１つ）

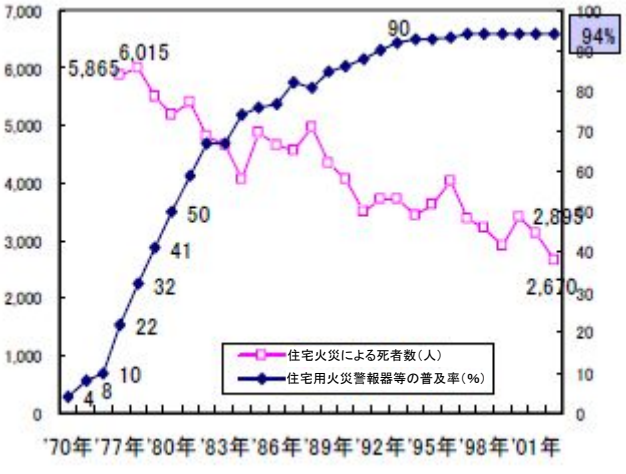
１．知っている　　２．知らない

【参考】

住宅火災100件当たりの死者数のデータでは、住宅用火災警報器を設置した場合、火災による焼死者が１／３になるということが明らかになっています。このような状況をうけ、平成16年６月に消防法の一部が改正され、全ての住宅に、住宅用火災警報器の設置が義務付けられることになりました。（川崎市で設置が義務付けられるのは、新築住宅が平成18年６月１日から、既存住宅は平成23年５月31日まで猶予期間があります。）



日本における平成 14 年住宅火災 100 件当たりの死者数



アメリカにおける住宅火災による死者数と住宅火災警報器等の普及率

【住宅用火災警報器の一例】

設置場所は…寝室・台所・階段のほか、住宅の形態等に
より設置を要する場合があります。

問29　あなたがお住まいの住宅には、住宅用火災警報器または自動火災報知設備が設置されていますか。（○は１つ）

１．住宅用火災警報器が設置されている
　　→ 設置されている場合は個数を記入してください（　　個）
２．自動火災報知設備が部屋の中に設置されている
３．設置していない　→ 問 29－（１）へ

住宅用火災警報器

テスト用のボタンや引っ張り紐があります。
天井設置型と壁掛け型があります。

自動火災報知設備の感知器

テスト用のボタンや引っ張り紐はありません。
主に天井面に設置してあります。

問29－（１）　問29で「３．設置していない」と答えた方にうかがいます。
いつ設置したいと思いますか。（○は１つ）

１．すぐに設置したい
２．設置期限の平成23年５月31日までに設置したい
３．設置したくない（理由をご記入ください）
（　　）

■　コミュニティビジネスについて

川崎市では、コミュニティビジネスを、地域の課題を地域で解決するしくみのひとつとして位置づけ、個人、グループ、NPOなどのコミュニティビジネスへの取組みに対し、無料相談や融資制度の設置など、市民の方によるコミュニティビジネスの創造と振興の支援に努めています。

今後の事業運営の参考とさせていただきますので、以下の問にお答えください。

問30　「コミュニティビジネス」という取組みを知っていましたか。（○は１つ）

１．知っていた
２．聞いたことはあるが内容は知らない
３．知らなかった

【参考】

コミュニティビジネスとは・・・

地域の課題に対し、地域住民が主体的に、地域資源等を活かし、「ビジネス」の手法により解決する取組みです。

個人、グループ、ＮＰＯなどが、健康、医療、福祉、環境、子育て、さらにはまちづくりや教育などの分野で、地域や市民の生活の課題解決に取り組む事業活動で、例えば、お年寄り向け配食サービス、仕事などで親が対応できない時の病児保育サービス等があります。

問31　次の分野のうち、あなたが身の回りにおいて解決すべき、もしくは実施する必要があると感じている地域課題はありますか。（あてはまるものすべてに○）

１．保健、医療、福祉
２．社会教育
３．まちづくり
４．学術・文化、芸術、スポーツ振興
５．環境
６．災害救助・支援
７．地域安全活動
８．人権擁護・平和の推進
９．国際協力
10．男女共同参画社会の形成
11．青少年教育
12．子育て支援
13．情報化
14．科学技術の振興
15．経済活動の活性化・支援
16．職業能力開発
17．雇用機会の拡充
18．消費者保護
19．観光
20．その他
（具体例：　　）
21．特にない

問32　地域課題についての取組みが身近にあった場合、その活動に参加したいと思いますか。
（○は１つ）

１．無償ボランティアであっても参加したい（もしくは参加している）
２．有償ボランティアとしてなら参加したい（もしくは参加している）
３．アルバイト賃金程度以上の収入になるなら参加したい（もしくは参加している）
４．参加したくない
５．その他（具体的に：　　）
６．わからない

問33　地域課題の解決を図る主体として、一番ふさわしいと思うものはどれですか。
（○は１つ）

１．公的機関（市や県など）
２．市民団体（どちらかといえば無償の活動によるもの）
３．市民団体（どちらかといえば有償の活動によるもの）
４．民間企業
５．個人的に解決を図る
６．その他（具体的に：　　）

問34　地域課題の解決にかかる費用の負担について、どう思いますか。（○は１つ）

１．受益者（利益を受ける者）が負担する
２．地域住民が負担する
３．企業等が負担（寄付も含む）する
４．公的機関（市や県など）が負担する
５．その他（具体的に：　　）

問35　コミュニティビジネスの起業について、どう思いますか。（○は１つ）

１．コミュニティビジネスの起業を考えている（もしくは起業している）
２．通常（コミュニティビジネス以外）の起業を考えている（もしくは起業している）
３．起業するつもりはない、もしくは関心がない
４．その他（具体的に：　　）
５．わからない

■　川崎市職員について

川崎市では、質の高い市民サービスを効果的・効率的に提供していくため、「川崎市人材育成基本計画」等に基づいて、職員の意識改革や能力向上に取り組んでいるところです。これまでの取組みを見直し、更なる人材育成を進めていくに当たり、皆様の率直なご意見を参考にしたいと考えていますので、以下の問にお答えください。

問36　あなたは、日ごろ、市役所や区役所、市の施設等の利用などを通じて、市職員と接することがありますか。（○は１つ）

１．よく市職員と接する
２．時々、市職員と接する　→ 問 36－（１）へ
３．ほとんど市職員と接しない

問36－（１）　問36で「１」または「２」と答えた方にうかがいます。
具体的にどこを利用されて市職員と接しますか。
（あてはまるものすべてに○）

１．市役所
２．区役所
３．図書館・市民館等の市民利用施設
４．その他（具体的に：　　）

問 37　あなたは、市職員による市民対応等について、どのように感じていますか。
（○はそれぞれ１つずつ）

	そう思う	ある程度そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
１　言葉遣い・態度がよい	１	２	３	４	５
２　事務処理・対応等を迅速に行っている	１	２	３	４	５
３　各窓口が連携されており、たらい回しがない	１	２	３	４	５
４　親身になって対応等を考えてくれる	１	２	３	４	５
５　同じことを誰に尋ねても、回答が変わらない	１	２	３	４	５
６　関連のある（役に立ちそうな）情報・制度等を、積極的に教えてくれる	１	２	３	４	５
７　最近（ここ２～３年）、対応が全体的に良くなった	１	２	３	４	５

問 38　あなたは、市職員あるいは職員の仕事ぶりについて、どのような印象を持っていますか。
（○はそれぞれ１つずつ）

	そう思う	ある程度そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
１ 市民サービス提供者としての自覚がある	１	２	３	４	５
２ 問題を先送りせず、課題解決に積極的である	１	２	３	４	５
３ 市民の声に敏感であり、市民とともに地域の課題に取り組もうとしている	１	２	３	４	５
４ 市民への情報提供・公開に積極的である	１	２	３	４	５
５ 常に新しい取組みを行おうとしている	１	２	３	４	５
６ 徐々に職員の意識改革が進んできている	１	２	３	４	５
７ 最近（ここ２～３年）、仕事ぶりが全体的に良くなった	１	２	３	４	５

問39　あなたは、市職員に求めるものとして、特に重要であると思うものは何ですか。
（○は３つまで）

１．地域についてよく知っていること
２．担当職務についてよく知っていること
３．市民の意見や要望への誠意ある姿勢
４．事業内容や予算に関する説明責任を果たすこと
５．公務員としての倫理観
６．誰に対しても公平な対応をすること
７．利用者の立場に立った臨機応変な対応
８．市民や地域とのネットワークづくり
９．民間企業的なコスト意識
10．市民を「お客さま」と思う意識
11．その他（具体的に：　　）

■　あなたご自身について

Ｆ１　性別（○は１つ）

１．男性	２．女性

Ｆ２　年齢（○は１つ）

１．20～24歳	５．40～44歳	９．60～64歳
２．25～29歳	６．45～49歳	10．65～69歳
３．30～34歳	７．50～54歳	11．70～74歳
４．35～39歳	８．55～59歳	12．75歳以上

Ｆ３　あなたのお仕事は、この中のどれですか。（○は１つ）

１．自営業主 ２．家族従業（家業手伝い） ３．勤め（全日） ４．勤め（パートタイム）	５．内職 ６．主婦・主夫（家事専業） ７．学生 ８．無職（年金生活者を含む） ９．その他

（Ｆ３で「１」～「４」とお答えの方にうかがいます）

Ｆ３－（１）　お仕事の内容を具体的にお聞かせください。（○は１つ）

自営業主・家族従業の方 （１～３の中からお選びください。）	勤め（全日・パートタイム）の方 （４～８の中からお選びください。）
１．農林漁業 ２．商工サービス業 ３．自由業	４．経営・管理職 ５．専門・技術職 ６．事務職 ７．技能・労務職 ８．販売・サービス職

Ｆ４　お勤め先あるいは通学先はどちらですか。（○は１つ）

１．川崎市内（お住まいと同じ区）	５．東京都（２３区内）
２．川崎市内（お住まいと別の区）	６．東京都（２３区以外）
３．横浜市	７．その他
４．神奈川県内（川崎市・横浜市以外）	８．通勤・通学していない

Ｆ５　ふだん最寄り駅までどのような交通手段をご利用になりますか。（○は１つ）

１．徒歩	３．バイク（原付含む）	５．自動車（送迎含む）
２．自転車	４．バス	

Ｆ６　あなたの現在のお住まいは、この中のどれにあたりますか。（○は１つ）

１．持ち家（一戸建）	５．借家（民間アパート・間借・下宿）
２．持ち家（マンション・団地）	６．社宅・寮・公務員住宅
３．借家（一戸建）	７．その他
４．借家（マンション・団地・公営住宅）	

Ｆ７　現在、同居しているご家族は、あなたを含めて何人いらっしゃいますか。

（○は１つ）

１．1人	３．3人	５．5人	７．7人以上
２．2人	４．4人	６．6人	

Ｆ８　６５歳以上の方は同居していらっしゃいますか。（○は１つ）
（ご自分が６５歳以上の方は１に○をつけて下さい。）

１．いる	２．いない

Ｆ９　あなたが現在お住まいの区はどちらですか。（○は１つ）

１．川崎区	５．宮前区
２．幸区	６．多摩区
３．中原区	７．麻生区
４．高津区	

Ｆ10　あなたのお住まいの地域の様子は、次のどれにあたりますか。（○は１つ）

１．オフィスビル、商業ビル、商店などがある地域
２．古くからの住宅が中心となっている地域
３．新しく開発された住宅地域
４．住宅と工場が混在している地域
５．まわりに田畑や山林などの森が残されている地域
６．その他（　　）

最後に、川崎市の市政について、ご意見やご要望等がございましたら、どんなことでもご自由に記入してください。

以上でアンケートは終了です。
ご協力大変にありがとうございました。

かわさき市民アンケート

報告書

平成19年３月

調査主体　川崎市総務局　市民情報室　市民の声担当
〒210-8577　川崎市川崎区宮本町１番地
電話 044-200-2292

調査実施　㈱サーベイリサーチセンター
〒116-8581　東京都荒川区西日暮里２丁目40番10号
電話 03-3802-6724

R100
古紙パルプ配合率100％再生紙を使用

KAWASAKI CITY
川崎市